

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和3年度
------	-------

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立古淵デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人たけのうち福祉会
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に関与するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地：相模原市南区古淵4-24-1 古淵住宅1階 延床面積：398.13㎡（機械室除く） 主な施設：作業及び日常動作訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、ボランティア活動室 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 開所時間：午前8時30分から午後5時15分まで 休所日：日曜日及び土曜日、年末年始（12月29日から1月3日まで） 定員数：25名
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計（人）	5,501	5,251	4,920	4,382	4,148	4,760	5,891
介護報酬等収入（円）			46,905,103	41,177,332	37,531,941	42,642,708	54,187,719
利用者負担金等収入（円）			9,129,929	7,898,912	7,445,202	9,061,206	11,400,878
収入総額（円）	50,870,953	67,627,941	56,479,846	49,381,331	45,685,461	53,623,541	66,327,321
支出総額（円）			53,209,546	52,230,424	46,093,786	50,545,025	64,846,432

※平成30年6月から令和元年5月までの期間は土曜日も開所しています。

## 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標の達成度は101.7%であり、評価基準により「A」と評価した。</li> <li>昨年度から達成度が大幅に上昇している。今後は、目標値を目指していただきたい。</li> </ul>

指標名（単位）	利用率（%）
指標式と指標の説明	$\text{年間利用者数} \div (\text{1年間の営業日数} \times \text{利用者定員数})$ ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位：%）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	100.0	100.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値（利用率）	85.6	82.4	77.2	59.0	62.6	74.1	92.0
達成度×1.05	85.6	82.4	81.3	62.1	69.2	81.9	101.7

※制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になります。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となってしまいます。令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整しています。

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施状況の達成度は116.7%であり、評価基準により「A」と評価した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、感染症対策を講じ、事業を実施している点は評価できる。</li> <li>・敬老会の実施内容は利用者と職員の関係性の良さが窺える。</li> <li>・季節を感じられる事業を行うことで、「季節の移り変わりを実感したり、過去の思い出を振り返る」などの効果があると思うので、季節を感じられる事業を増やしていただきたい。</li> </ul>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
—	—	—	

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
季節を感じるための外出機能訓練	4月1,2日	忠霊塔の公園まで車で行き、付近や公園の中を季節の花々をみながらお仲間と一緒に楽しく歩きました。普段の歩行訓練時と比べて自然と歩行距離が延びました。のべ利用者20名。	○
買い物機能訓練	6月1~3,7,8日 10月25~29日 11月15,16,25,26日	以前出来ていたことを支援を受けながら出来るようになることで社会に繋がっている気持ちを持てる、自然と歩行距離が延びることを目的にローソンとクリエイトへ歩いて買い物に行きました。のべ利用者262名参加	○
敬老会	9月13~15日	人に愛され、感謝される気持ちを味わい自分が今あることに感謝し存在価値を感じて頂くことが目的です。職員と一緒に一人一人が笑顔の写真を撮影しそれを映像にして1年間の活動写真と共に流しました。職員が映像に合わせて歌を歌い、間奏の間に職員一人一人から感謝の気持ちを言葉にして伝えました。その写真をうちわに貼ってプレゼントしています。映像のプレゼントの前にはお持ち帰りのパン作りをしました。のべ利用者72名参加	○
運動会	11月17,19,22,23日	お仲間と一緒に自分ができる精一杯の力を自然と出してもらい、満足感を味わう為に運動会をしました。個人戦・団体戦のいろいろなプログラムに挑戦しました。のべ利用者73名参加。	○
クリスマス会	12月20~22日	同じ法人のあおば保育園の年長さん達が(1日5~6名)出し物をしに来てくれました。子供たちが来るまでの間クリスマスリースのパイ作りをしました。のべ利用者68名参加。	◎

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
社会貢献活動(バザー)	1月23日	古淵イオンのパブリックスペースにて開催。地域の皆様と一緒に手作り作品を作り集め中心子供の家の子供たちに送る支援金を集めました。支援金164,000円で一人一人が自分の本を持つ喜びを味わってもらえるように図書券とクオカードを購入して送りました。ひまわり工房と自治会のポスターを見た地域の方2名が出店に参加しています。	◎

※施設の設置目的に即して利用者のための活動を適切に実施していれば「○」、その中で、特に市立施設であるという特性を鑑み、地域住民が参加できる多世代間交流や地域活動の促進に繋がる事業については、広がりのある取組として評価し「◎」と評価する。

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の満足度の達成度は93.4%であり、評価基準により「B」と評価した。</li> <li>・達成度が昨年度から上昇している点は評価できるが、回収率43.3%と低いので、アンケート回収の手法を検討していただきたい。</li> </ul>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会に委託した無記名アンケートを期間中に利用実績のある利用者60人に配布し、回収は26人。(回収率43.3%)。実績値(満足度)はアンケートによる事業所の総合評価点(実施日:令和4年1月21日)
目標値の基準	令和2年度に実施した本市の高齢者等実態調査における、デイサービスを含む居宅介護サービスへの満足度の設問に対する「満足」、「おおむね満足」の合計の割合

項目（単位：％）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	77.0	89.8	89.8	89.8	89.8	89.1	89.1
実績値（満足度）	77.8	84.9	84.5	78.1	79.4	80.1	83.2
達成度	101.0	94.5	94.1	87.0	88.4	89.9	93.4

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	施設受付にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望を随時受け付けている。受け付けた内容は毎月確認し職員会議の議題として検討する。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	・経営状況に特段の課題はなく、施設の全体収支、事業収支ともに収入が支出を上回っているため、評価基準により「S」と評価した。

施設の収支概要		※直近3年間について記載		
		(千円)		
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)		45,629	53,624	66,327
	介護報酬等	37,532	42,643	54,188
	利用者負担金等	7,445	9,061	11,401
	その他	652	1,920	738
支出 (b)		45,764	50,193	55,988
	人件費	35,962	39,034	44,573
	事業費	5,742	6,691	7,156
	事務費	3,948	4,271	4,156
	その他	112	197	103
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		-135	3,431	10,339
自主事業収入 (d)		0	159	164
自主事業支出 (e)		0	159	164
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		0	0	0
事業活動収支 [(c)+(f)] (g)		-135	3,431	10,339
施設整備等収入 (h)		0	0	0
施設整備等支出 (i)		0	0	2,712
施設整備等収支 [(h)+(i)] (j)		0	0	-2,712
その他収入 (k)		57	0	0
その他支出 (l)		330	353	6,147
その他収支 [(h)+(i)] (m)		-273	-353	-6,147
全体収支 [(g)+(j)+(m)] (n)		-408	3,078	1,480
備考	▽前年度との比較 ・収入の増は利用者数増によるもの。 ・支出の増は利用者数増による職員配置増によるもの。 ・施設整備等支出の増は送迎車両購入によるもの。 ・その他支出の増は人件費積立資産によるもの。 ▽コロナ対策事業補助金 ・収入(その他)に551,690円含まれます。			
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の課題はない。			

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和4年3月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

・重度者の利用中止からコロナ禍での在宅生活困難者の利用中止が重なり在籍人数がかなり減っていたことから、ホームページやブログの更新・年4回の新聞の発刊、新規ケアマネ事業所を含めたケアマネ事業所へ約200部弱の新聞を印刷し送付を続けてきました。毎年実施する支援バザーのお知らせも含め施設の活動内容が広く知られるようになり組んできた結果、新規利用者数が増えてきたと感じました。その分全体の利用者像が変化してきています。認知症がかなり進行しているが軽度者である方々が増えています。家族の負担を減らすために家族の話聞き相談相手になる、ケアマネージャーの話聞き慰労する等様々な対応を細やかにしています。

## 10 所管課意見

・利用者数の増加率は大変評価できる。施設管理者を中心とした職員の努力の成果と考えられる。今後も利用者確保に向けた取組やサービス充実を継続していただきたい。  
・職員ラインを活用した研修や業務上の注意点の共有などの取組は評価できるが、個人情報の管理には注意していただきたい。  
・利用者満足度調査については、回収率が50%以下となっている。利用者数を維持していくためには、意見を反映していくことが重要である。アンケートBOXを含め、利用者の意見をしっかりと聞いていただきたい。

## 11 選考委員会意見

・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、昨年度に引き続きデイサービスの運営は苦労した1年だったと考える。利用者の健康維持、安全を確保しながら施設運営を継続していただいたことには感謝したい。  
・このような状況の中、成果指標の達成度が昨年度から20%近くも上昇していることは大変評価できる。この状況に満足するのではなく、目標値達成に向け努力していただきたい。  
・社会貢献活動(バザー)の実施は大変評価できる。ぜひ継続していただきたい。  
・利用者満足度調査については、目標値を達成できていない。昨年度指摘した「サービスの説明」、「利用料金の説明」、「サービス計画書の説明」については、評価が低いままである。利用者数が増加し、職員の負担が増えていると思われるが、早急にサービスに関する説明方法の見直しを検討していただきたい。  
・HPの更新等に力を入れているので、ウェブアクセシビリティの積極的な取組もお願いしたい。  
・職員への研修を毎月実施しており、人材育成について評価できる。今後、研修内容に、社会福祉法の改正に伴い「地域共生社会」、「包括的支援体制の構築」なども加えることを検討していただきたい。  
・成果指標の達成度が大きく上昇している中で、利用者の満足度評価が上昇していない点、回収率が低い点については、原因を分析されたい。

### 総合評価（自動判定）

**A**

(75/100)

